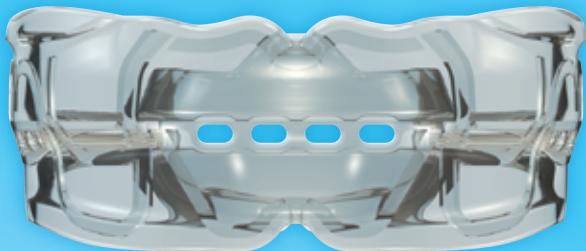


MYOFUNCTIONAL SLEEP APPLIANCE

myosa[®]

日中1時間
と夜間就寝
時の使用

S2



TMJBDS[®]
FOR TMJ, BREATHING
& DISORDERED SLEEP

ステージ2

鼻呼吸獲得過程にある患者用

www.myosa.com

国際特許

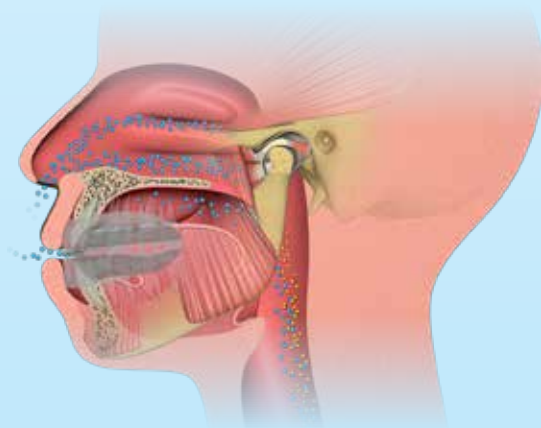
詳細はMYORESEARCH.COMをご覧ください。

口腔内装置による治療

Myosa[®] for TMJBDS[®]プログラムには、睡眠関連呼吸障害 (SRBD) および顎関節症 (TMJ/D) の存在を特定するための具体的な評価、診断、および治療ステージがあります。これらの障害は相互に関連しており、TMJBDSという症候群として一つにまとめられています。歯牙(**T**eeth)、筋肉(**M**uscles)、顎(**J**aws)、呼吸(**B**reathing)、睡眠障害(**D**isordered **S**leep)に関連する症状です。

迅速な症状緩和とともに、Myosa[®]プログラムは問題の根本原因に対処するために特別に設計された治療です。

Myosa[®]プログラムは、症状が完全に解消されることを目指しますが、結果には個人差があります。



注意：口腔内装置は、歯牙の位置や顎関係を変える可能性があります。硬い下顎前方誘導装置 (MAD) とは異なり Myosa[®]装置は柔軟性があるため、顎関節の痛みや咬合への影響を最小限に抑えます。

問題を理解する

睡眠と顎関節障害は、世界中の多くの人々に影響を及ぼしています。症状の範囲が広く、原因と適切な治療法の特定が困難な場合があるため、苦しんでいる多くの患者は、診断されずにいるか誤って治療されています。頭痛、頸部痛、夜間のいびき、日中の倦怠感などの症状は一見無関係に見えるかもしれませんが、それらはすべて単一の健康問題の一部である可能性があります。顎関節障害(TMD)の原因の2つは、口呼吸と誤った嚥下習慣であるため多くの場合、それらの症状は同時に発生します。

正常な鼻呼吸vs口呼吸

口呼吸は異常であり、睡眠呼吸障害(SDB)の原因の1つです。子どもは口で呼吸していると顎は正しく前方に発達することができません。SDBを患っている成人はたいてい顎が劣成長で、それは舌と下顎が気道を制限する原因となります。したがって、下顎と舌を前方に保ち、気道を確保するためには、常に正しく鼻で呼吸する方法を学ぶことが重要です。



口呼吸
低位舌



鼻呼吸
拳上された舌

Myosa[®] S2 – ステージ2

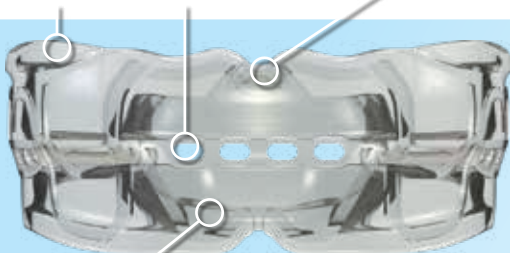
Myosa[®] for TMJBDS[®] S2は、慢性口呼吸者ではない患者またはS1かS1M装置でステージ1の治療を受けた患者用に設計されています。Myosa[®] S2は、就寝中に下顎を前進させ咬合を開くことで、気道を開く効果があります。装置前面の小さな呼吸孔は、鼻呼吸を促し口唇閉鎖を維持することで呼吸の調節を最適化します。夜間のより良い保持力のために成形可能タイプのS2装置(S2M)を使用することができます。二重成形構造によりタイトにしっかり適合します。

Myosa[®] for TMJBDS[®] S2 – 設計の特徴

高い側面が成形しなくても優れた保持力を発揮します。

4つの小さな呼吸孔は鼻呼吸を促進するように設計されています。

タンタグが舌を正しい前上方位に誘導します。



タンエレベーターが舌を正しい位置に保持します。

4つの後方部の穴は顎関節を除圧し快適性を高めます。

最適な顎の位置が顎関節を最適な位置に導き気道を開きます。

Myosa[®] S2
断面図



S2 ステージ2
鼻呼吸獲得過程
にある患者用

使用の適応症

Myosa[®]装置を使用する前に睡眠障害が疑われる場合、治療担当医はその評価のために患者を専門医に紹介することがあります。Myosa[®]口腔内装置は、TMJBDSの症状を持つ患者に快適さが得られるまで日中に使用されます。慣れたら日中1時間と夜間就寝時に使用します。

使用方法



ステップ1 - タンタグが上にある状態でMyosa[®]装置を持ちます。



ステップ2 - Myosa[®]装置を口腔内に入れてください。



ステップ3 - 舌をタンタグに当ててください。



ステップ4 - Myosa[®]装置を噛んで顎を前方に誘導させます。



ステップ5 - 意識して口唇を閉じ鼻から呼吸をします。

Myosa[®]装置を強く噛み込まないでください。

初めにS2を日中に使用して習癖を是正します。S2M装置を夜間に使用することで、保持力を高めることができます。

設計特徴

- 高い側面は成形しなくても優れた保持力を発揮します。
- 鼻呼吸を促すためのやや小さめの呼吸孔が4つ設けられていますが、まだ口呼吸を許します。
- タンタグは舌を前上方の正しい位置に誘導します。
- タンエレベーターは舌を正しい位置に保ちます。
- ソフトでフレキシブルなMyosa[®] S2は、硬い装置に比べ着け心地が快適です。
- 後方部の4つの小さな孔が気道を開き、垂直的な動きを可能にすることで顎関節に快適さを与え、また顎関節の除圧とクリッキングを軽減します。

Myosa[®] S2は、Myosa[®] S1を使用して睡眠呼吸障害(SDB)の改善後に使用可能です。

Myosa[®]の洗浄:口から外したらすぐにぬるま湯で洗い流してください。週に2回洗浄剤をご使用ください。推奨の洗浄剤については、かかりつけ歯科医にお尋ねください。

**重要:状態を正しく評価するためには
医療従事者への相談が不可欠です。**

耐用期間:毎日使用した場合6ヶ月間。使用頻度にかかわらず12ヶ月後に交換してください。



Myosa[®] by Myofunctional Research Co.
Myofunctional Research Co. Australia
44 Siganto Drive, Helensvale QLD 4212 Australia
Tel: +61 7 5573 5999

USA Representative:

Myofunctional Research Co. USA
9267 Charles Smith Avenue, Rancho Cucamonga CA 91730 USA
PO Box 2781, Rancho Cucamonga CA 91730 USA
Tel: +1 866 550 4696



European Representative:

Myofunctional Research Europe B.V.
Gompenstraat 21c 5145 RM Waalwijk The Netherlands
P.O. Box 718, 5140 AS Waalwijk The Netherlands
Tel: +31 416 651 696



**MYOFUNCTIONAL
RESEARCH CO.**
INNOVATIVE DENTAL APPLIANCE
TECHNOLOGY AND EDUCATION



直射日光を避けてください。

患者1人用。



非滅菌
使用前に洗浄してください。